



# 福岡女子大将来構想最終答申 福岡女子大教授 田村典明 将来構想委員長

前回の会報(第64号)では、同窓生、高等学校、企業へ行なったアンケート結果を掲載させていただきました。今回は、福岡女子大学の現在置かれている状況や今年5月に提出した将来構想委員会の最終答申についてご報告いたします。

長引く経済不況の中で企業のリストラや行政改革が進行していますが、大学においても、教育・研究・大学運営の効率化、地域貢献、国際化などといった様々な課題に対して、資金(=税金)投下に見合った効果を期待されるようになってきました。

年(西暦)	日本全体の大学改革の流れ	本学における改革状況等
1991	大学設置基準の大綱化 ・大学組織編成の規制の撤廃、専門教育と教養課程の区別の廃止といった大幅な規制緩和	
1993		大学院文学研究科修士課程設置
1995		家政学部から人間環境学部へ改組
1997		英文学専攻博士後期課程設置
1998	大学審議会答申 ・第3者評価機関の設置→大学間の競争原理と「適切な」資源配分の促進	
2000		大学院人間環境学研究科修士課程設置
2001		11月 福岡女子大学自己点検・評価報告書作成 福岡女子大学将来構想委員会設置
2002	「21世紀COEプログラム」実施 ・大学の自由競争による研究の重点化・拠点化	8月 外部包括監査実施 11月 大学評価・学位授与機構による大学自己評価実施 文学部…「人文学系」、人間環境学部…「総合科学」 (2003年7月に報告書提出、11月現地調査予定)
2003	2月 国立大学法人化法案が国会に提出 7月 地方独立行政法人法成立 7月 国立大学法人法成立 7月 「特色ある大学教育支援プログラム」実施 ・大学の自由競争による教育の重点化(教育のCOE版)	5月 外部包括監査公表 全学将来構想委員会の最終答申提出 7月 県立大学独立行政法人化改革検討委員会設置
2004	4月 国立大学法人設置	
2005	東京都立大学など公立大学数校の法人化が予定	

た。また、18歳人口が第2次ベビーブーム世代のピーク1991年に204万人だったものが、2009年には120万人と41%も激減すると予想され、大学進学希望者がほぼ全員入学できる時代に突入すると言われています。このような状況下で文部科学省は、10年程前から、大学の規制緩和、国立大学の再編・統合、民間的経営手法の導入、第三者評価による競争原理の導入によって大学

の活性化を試みています(表参照)。そして、今年7月に国立独立法人法が成立し、来年4月より国立大学は一斉に、大学の自立的な運営と民間的発想のマネジメントが導入される「国立大学法人」となります。公立大学においても、今年7月に地方独立行政法人化法案が成立し、地方自治体の裁量の下に公立大学を法人化することが可能になりました。

このような大学を取り巻く厳しい環境の中で本学ではこれまで表に示すように、大学院設置、学部改組等を行い、第三者機関による外部評価(監査)も最近経験し不断の自己改革を続けています。2001年11月には将来構想委員会を設置し、岡学長より諮問を受けた4項目(①県立大学としての福岡女子大学の理念と使命、②本学の教育・研究体制、③将来に向けての学部・学科内容の再検討、④福岡県を中心とする近隣地区への教育・学術的貢献の内容)について検討してきました。

本委員会が昨年5月に提出した中間答申では、これまでの本学の文化と教育・研究のノウハウのもと、「新しい知の『創造』の拠点づくり」「新しい知の『発信』の拠点づくり」「学術・教育・文化などの『交流』の拠点づくり」を目指すという将来構想の基本方針を確認し、本学の教育・研究やその体制についての44項目の具体的な検討項目を提示し、今年5月までに約8割が積極的に取り組まれています。最終答申では次の4項目を中心に提言し、検討・実行に移すことになっています。

- 1 本学のもつ知的資源を地域社会へ還元する機関としての「地域連携教育・研究センター」の創設
- 2 学生重視の教育・研究体制の確立
- 3 大学運営システムの新たな構築
- 4 大学施設・設備の充実

今後、本委員会では、「県立大学としての理念と使命」を常に念頭に置きながら、本学が、教育、研究、地域(社会)貢献の3極のどの位置をとっていくのか、別の言い方をすれば、本学が、研究重点大学、教育重点大学、教養型大学、実践的職業人の養成大学のどの方向に進むのかを議論することになっています。



大中研究室の実験風景

大学改革に向けて……

# 女子大は今

改組後の現況……

## 生活と学問の接点

人間環境学部 生活環境学科  
生活環境衛生学研究室

大中忠勝

人間環境学部  
専任教員の教育研究活動報告

福岡女子大学家政学部が人間環境学部へ改組された1995年4月に、国立公衆衛生院(厚生省の試験研究機関)から着任以来8年間(2000年は海外研修)の研究を卒研生との関係で紹介しています。環境衛生学とは、環境を整えて、より健康で快適な環境を構築しようとする学問(実学)です。その意味からも、実際に問題となっている事項や、生活に役立つ情報を見出す研究を、高齢者を含めた人々を対象に行っています。福岡女子大学での研究も、前の研究所で行っていた温熱環境と空気環境の生体影響を中心に行っています。また、高齢者を対象にした、あるいは想定した研究もあわせて行っています。

### <温熱環境についての研究>

1995年は、高齢者が居住している住居の冷暖房の状況を着衣量との関連で調査し、冬季の暖房状況が貧困であり、高齢者は厚着をして寒さを凌ぐ傾向にあること、また冬季の浴室の気温が低く、湯温を高めにして対処していることを報告しました。(田島礼子・野沢まい)

1996年には、寝室温熱環境、特に冬季の寒さが睡眠に与える影響を調査し(睡眠中の体動の一晚計測)、入浴による身体の加温がその後の睡眠の質を上げることを報告しました。(権藤清美、水口久美子、長島麗)1997年には、高齢者の睡眠についての同様な調査を行い、夏季の睡眠が浅くなるが、主観的な評価とは一致しないことを認めました。(木下理子)

1998年には、夏季の高温高湿の寝室環境が睡眠に与える影響を調査し、室温28℃、不快指数78程度以上の環境では、睡眠の質の低下を認めました。(白石理絵、吉田友香)

1999年には、高齢者住居の温熱環境の実態調査を行い、快適温度範囲(特に冬季)が若年者と異なることを報告しました。(古賀正子、平川 恵)

オフィスビルの環境(温熱、空気環境)を調査し、空調設備が執務者へ影響していることを報告しました。(高橋朋子、武富友美)

2001年には、床暖房の生体影響を(阿部沙織)、また、入浴中の生体影響を(鈴木さゆり、松原由佳)、実験的に検討しました。2002年には、床暖房の生体影響を高齢者において(山本明子、櫛部円)、また、放射冷房の可能性(中村 綾、若林理恵)を被験者実験により検討しました。

### <空気環境についての研究>

1996年は、住宅内のカビや細菌(浮遊しており、体内に吸い込む可能性がある)を居住者の住まい方との関係で(今村紀子、坂本佳代)、1997年には、室内でペットを飼育している影響(桑山美智恵)について調査し、換気や清掃の重要性を指摘しました。

2001年には、マイナスイオンと湿度の関係について(麻生多栄子、福島早苗)、2002年には、特に冷暖房時のマイナスイオンの生体影響(篠原純子、安永千恵)を実験検討し、一般に言われている効果は小さいものであることを報告しました。

### <高齢者、その他についての研究>

1997年には、トイレ空間の違いが介助時の生体負担に及ぼす影響(岩崎綾佳)を、トイレでの介助における必要スペース(新井圭子)について実験検討しました。1998年には、生体負担からみた便座の高さ(前田佳代子)を、浴槽の縁高(森原まお)を、1999年には、トイレの手すりの高さ(三森優子、吉田真理子)を生理学的な計測から検討しました。

1996年には、酸性水の殺菌効果(濱口雅子)を微生物学的に検討し、1998年には、照明が視作業に及ぼす影響(上田美穂子)を生理学的に検討しました。

職名	氏名	所属	研究テーマ
教授	合原 真	無機化学	環境系における無機反応機構に関する研究
教授	若松 國光	環境生理学	環境ストレスと生物の対応に関する研究
教授	小泉 修	神経科学	散在神経系の神経生物学
教授	佐藤 一紀	環境有機化学	自然環境中における有機化合物の構造と機能に関する研究
教授	田村 典明	植物細胞工学	光合成水分解離の構造と機能に関する研究
教授	甲斐 裕	数値情報科学	学習課程及びゲームの情報論的研究
助教授	黒木 昌一	物理学	物性基礎・統計力学
助教授	池田 宜弘	物理化学	界面活性剤の界面および溶液中の物性の熱力学的研究
助教授	弓削 昌弘	発生生物学	脊椎動物の体軸形成
助手	田中 肇子	物理化学	界面活性剤水溶液に関する研究
助手	美濃部純子	神経科学	散在神経系の発生神経生物学的研究
助手	藤野 友和	数値情報科学	ゲーム理論
助手	大坪 蘭子	植物生理学	植物の低温耐性獲得の分子機構に関する研究
教授	馬渡 志郎	人体生理学	細胞の過酸化と各種栄養素との関係
教授	長 修司	栄養学	脂質代謝異常の予防と治療に有効な食品成分の探索
教授	野田 耕作	生化学	アミノ酸・ペプチド・タンパク質の化学
教授	片山 洋子	臨床栄養学	ライフステージに応じた健康づくりの基礎および臨床栄養学
教授	早瀬 仁美	公衆栄養学	食生活と健康に関する栄養疫学の研究および食教育
教授	神田 千代	栄養教育論	健康状態の保持増進の理論と実践及び疾病予防と食事教育法
助教授	白石 淳	食品微生物学	食品学・食品微生物学
助教授	舟木 淳子	調理化学	プロテアーゼとその阻害剤の食品加工・調理への利用
助教授	宗像 寿子	給食経営論	
助手	山口 容子	生化学	イオンチャンネルブロッカーの単離・精製
助手	村上 香	生物化学	赤血球膜の過酸化・抗酸化に関する研究
助手	梅木 陽子	栄養健康科学	栄養ケアマネジメント(NCM)、臨床実習教育内容検討
助手	森 晴子	栄養健康科学	納豆粘質物に関する研究
助手	久野真奈見	栄養健康科学	食生活と健康に関する栄養疫学的研究
教授	山本 昭子	被服設計学	現代日本人の歩行のロコモーション
教授	真鍋 征一	機能材料加工学	繊維の構造と物性、高分子膜の作成/構造/特性
教授	佐々木俊介	美術・意匠学	造形手法論、絵画制作
教授	大中 忠勝	生活環境衛生学	健康や快適な住環境、特に温熱、空気環境に関する研究
教授	森田 健	住環境学	生体リズムに及ぼす光の影響に関する研究
助教授	今林 祐子	生活環境管理学	酸化系漂白剤の作用機構
助教授	吉村 利夫	機能材料化学	環境調和型生活材料に関する研究
助手	藤岡留美子	機能材料化学	繊維の構造と物性
助手	上野 智子	衣服設計学・生活環境衛生学	ライフスタイルと自然環境評価に関する研究

平成15年度福岡女子大学 土曜公開講座  
「言葉と文化ー原典を繙く」日程表

日程及び講師名	講義タイトル
5/10 森 邦昭 (人文学系)	プラトン『メノン』は何を言おうとしているのか
6/14 山中 光義 (英文学科)	イギリス伝承バラッド
7/12 北田 葉子 (人文学系)	歴史の研究と中世ヨーロッパの言葉
8/9 田坂 憲二 (国文学科)	源氏物語の人物造型
9/13 吉崎 邦子 (英文学科)	「小鳥が小道をやってきた」アメリカの詩を読む
10/11 矢野 準 (国文学科)	日本語は乱れているか
11/8 馬場 弘利 (英文学科)	ワシントン・アーヴィング「リップ・ヴァン・ウィンクル」ー民話・政治・フェミニズム批評
12/13 月野 文子 (国文学科)	万葉集のユーモア
1/10 望月 俊孝 (人文学系)	哲学の言葉
2/14 村里 好俊 (英文学科)	シェイクスピア作『ハムレット』の独白を読みとく

日程：平成15年5月～平成16年2月の毎月第2土曜日  
時間：13：30～15：30 (受付は13：00開始)  
会場：福岡女子大学附属図書館1階視聴覚室  
対象：高校生および一般の方 (1回のみ受講もできます。)

両講座の申し込み・問い合わせ先

〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1-1-1  
福岡女子大学 生涯学習研究センター TEL:092-661-2411(内線533)  
FAX:092-661-2415  
E-mail: rcle@fwu.ac.jp URL: http://www.fwu.ac.jp/rcle/

# スローライフのすすめ

～ストレス社会を生きるために～

## 平成15年度 福岡女子大学 秋季公開講座

日時：10月24日(金)、31日(金)、11月7日(金)  
13:30～16:30(受付は13:00開始)

会場：福岡女子大学附属図書館1階視聴覚室

初回は13:15より開講式

10月24日(金)

精神看護からみたこころの健康  
ーゆったりとして 生き生きとー  
日本赤十字九州国際看護大学講師 石橋 通江

ストレスをやわらげる食生活  
福岡女子大学助教授 宗像 寿子

10月31日(金)

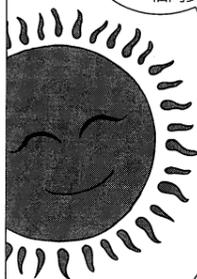
心をいやすアロマセラピー  
(有)ルレアヒーリングアーツ代表取締役  
アロマセラピー・コンサルタント 原 藤華

療法としての園芸  
大分短期大学教授 蔦 紗穂美

11月7日(金)

いやしとスポーツ  
ースロースポーツのすすめー  
福岡女子大学講師 松浪 稔

健康で快適な冷暖房を考える  
福岡女子大学教授 大中 忠勝



公開講座のポスターより

### 平成14年度あすばる調査研究

## 「大卒女性の就業の現状と意識に関する調査研究」概要

福岡県女性総合センター「あすばる」研究員 野上 千穂 (大46英)

福岡県男女共同参画センター「あすばる」では、平成14年度に左記のテーマのもとに福岡県内の国・公・私立5大学を卒業した女性を対象にして、アンケート調査を行い、620人(回収率20%)からの回答を得ることができた。福岡女子大学卒業生の方にも御協力いただきました。

#### (1) 回答者の卒業年度

男女雇用機会均等法制定前後の6か年の卒業生を対象にしたが、「81年」卒がやや多い結果となった。(図1)

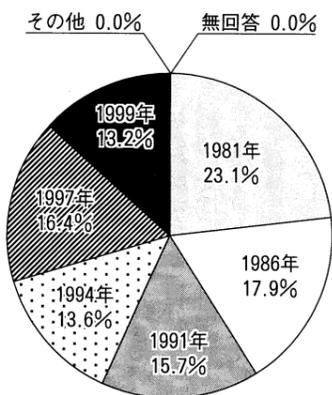


図1 回答者の卒業年度

### 採用の募集条件に不平等感

#### (2) 就職活動時の均等処遇

就職活動時の均等処遇については、「資料請求の返事」「面接での質問」は平等だと感じた人のほうが多かったが、「募集・採用条件」「採用数」など実際の採用にも影響を与える項目ではどの卒業年度でも不平等だと感じた人のほうが多かった。(図2)

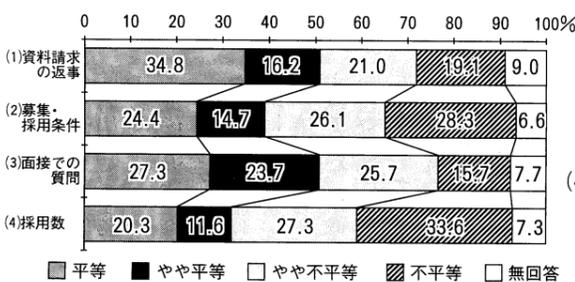


図2 就職活動時の均等処遇

### 再就職時の不満足感

#### (3) 現在の就業状況

現在の就業状況を4つのタイプに分類すると、大学卒業後の初職を継続している「継続型」が32.2%、転職後の仕事を継続している「転職型」が15.3%、3か月以上の中断期間をおき仕事を再開した「再就職型」25.7%、現在は働いていない「退職型」は26.7%であった。(図3) 現職に対する満足度をみると「継続型」では全ての項目で、「転職型」では「仕事内容」で満足感が高かった。これに対し、再就職型では「労働時間」に対する満足度は高いものの、「給与」、「雇用形態」、「社会保険制度」の3項目は不満足感が高く女性の再就職時の問題点が伺えた。

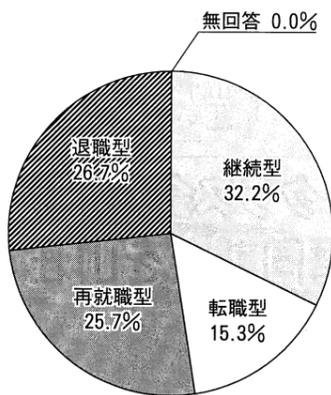


図3 現在の就業状況

### 就業継続へ高い意欲

#### (4) 今後の就業への思い

現在就業している「継続型」、「転職型」、「再就職型」ともに「今後の働き方」では「就業継続」志向が最も高く、就業継続に対する高い意欲を持っている一方で、どのタイプでも未婚者

では「結婚・出産退職」志向や「転職」志向が3割程度いた。また、「再就職型」では「特に考えていない」という回答も多く、再就職先での自己実現の展望が曖昧となっているようである。「退職型」では6割の人が再就職を望んでおり、既婚者の多くは「子育て後」を再就職の時期と考えている。このように高い就業意欲を持ちながらも、現在の職場での女性の能力活用や両立支援体制では仕事と家庭の両立が困難であるのが現状のようである。そのため男女共同参画への意識啓発や結婚・出産後も女性が就業を継続できるような具体的な条件整備が求められている。(図4)

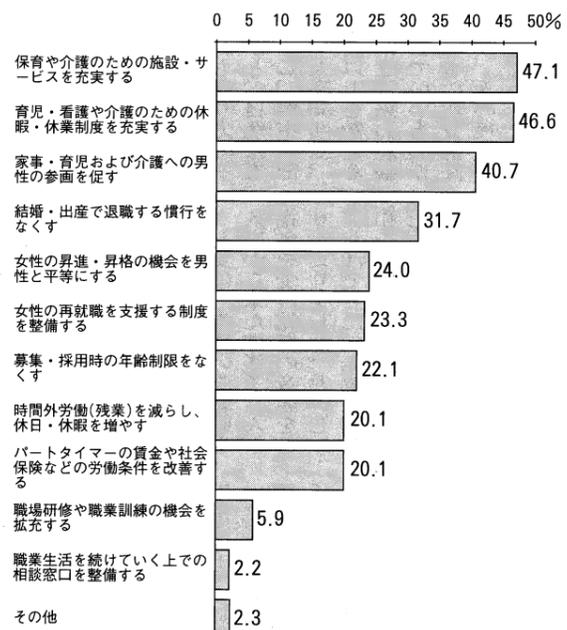


図4 社会的条件整備の希望

### 福岡女子大学〇×クイズ30

- 福岡県女子専門学校の初代の校長は小川照郎氏である。
- 最初、女専の校舎は監獄跡と呼ばれていたところに造られた。
- 女専の開校は大正15年である。
- 同窓会「筑紫海会」は昭和2年、十倉校長発案でつくられた。
- 福岡県女子専門学校は日本初の公立女子専門学校であった。
- 女専の校舎は、一時、現大丸デパートの場所にあった。
- 女専の校舎は2度焼けてなくなった。
- 女専5回生の修学旅行は、朝鮮・満州であった。
- 昭和52年に設立されたつくしみ山荘は湯布院にある。
- つくしみ山荘の宿泊料は、同窓会員は1泊2食で税別5,800円である。
- つくしみ山荘に泊まる同窓生ツアーは、今年で14回目を数える。
- 福岡女子大学の開学記念日は4月29日である。
- 4年制の大学としてスタートしたのは、昭和25年である。
- 福岡女子大学校歌の作詞者は、3代目学長の倉野憲司先生である。
- 平成14年度筑紫海会会員を都道府県別で見ると、青森県、岩手県は0である。
- 平成14年度筑紫海会会員の海外在住者69名の中には、ナイジェリア在住者がいる。
- 現在、体育系サークルの中にスキューバダイビングもある。
- 女子大の箏曲部は伝統があるが、現在は津軽三味線のサークルもある。
- 実は過去に遠足部が存在した時期があった。
- 大学祭は「かすみ祭」の名で親しまれている。
- 現在、女子大には文学部と生活環境学部がある。
- 平成4年2月完成の学生会館には、食堂だけでなく喫茶店もある。
- 大学院は平成5年に設置された。
- 昭和55年に完成した学生寮は3階建てである。
- 現在、入学金は、県内出身者282,000円、県外出身者520,000円である。
- 平成14年度学生数は、学部生800名、院生63名であった。
- 久留米～女子大は、西鉄電車・バスで行くと、ちょうど1,000円かかる。
- 今年度ご退職なさったのは正田啓祐先生である。
- 現在の学長は岡照雄先生である。
- 女専・女子大を合わせた卒業生は、あと少して1万人を超える。

〈正解〉 3. 大正12年 6. 現岩田屋デパート 9. 九重飯田高原  
 12. 4月22日 15. 岩手県1 18. 1012 21. 人間環境学部  
 24. 4階建 27. 990円 30. 1128人

去る6月22日、久留米プリズクラブに於て、本部から理事2名の出席を得て、講師に大学5回食物学科卒の吉田昌子さんをお迎えして平成15年度久留米・筑後支部総会を開きました。行き届いた当番の方々(大卒30・33回卒)の準備のおかげで出席者67名を数え、大変嬉しく思いました。「さおり織と共に」という題で講演して頂いた吉田昌子さんは三井郡北野町在住で、永年高校教諭を勤められ、養護学校在職中に出席されたさおり織を教材として取り入れられて以来、その美しさと教育的効果に魅せられその道を極め続けていらつしやる方で、退職後の現在はふくおかさおり織を自宅に持ち、織りや仕立てを指導されておられます。さおり織とは1968年大阪の織物で、従来の織りの固定観念にとられず自由な好きに織ることによって感性による自己表現の喜び、造ることの楽しさを見出すことができる点が他の手織りと違うところだと強調されました。障害を持つ子供達が今迄教師も親も知らなかった色彩への豊かな感性を、さおり織の織機の前で発揮し、周りを驚かし、更にその子自身に自信と生き甲斐を与えていく過程を実年次順にしつらえられたテ



### 「ファッションショー」と「女子大クイズ」と……

久留米・筑後支部長 下川 太知子 (大5英)

例でもって熱っぽくお話しただき、私達に大きな感動を与えていただきました。お話の後、御自分やスタジオで学ぶ人々の作品を、その風合いを壊さぬように簡単に仕立てられた上着、ベスト、ワンピース、スカーフ等たくさん素敵な製作品を十数名の当番の者が着てファッションショーをやりました。モデルさん達はリハサルをなさり、歩き方も練習なさっていて、とてもお上手でした。女子大卒の異色の方々が身近にたくさんいられて素晴らしい仕事をなさっているのだと改めて感じました。懇親会場では、整えられたテーブルには当番の方が造られた可愛いブーケが飾られ、おいしい料理も次々に出て大変幸せでした。前支部長の石原さんの乾杯の音頭で始まった懇親会では、いい勉強をいたしました。

### 支部だより

去る6月22日(日)午前11時、場所 アークホテル熊本。出席は14名、ここ数年横ばいですが、嬉しいことに今年はいよいよ出席の方が3人(大22、23、25回)女専卒も三人は確保出来ました。会は、当番の魚住寿穂(大22)、魚住孝子(大25)、大堂喜三子(大7)お三人により進められました。初めに、昨年12月ご逝去の井上裕子(大24)さんのご冥福を祈って黙祷を捧げ、次いで本部からお越しの光石副会長から「最近の大学事情」をご挨拶を兼ねて伺いました。しかし「太極拳とは何か」の気分は味わっていただけましたでしょうか。丸い宇宙の陰陽の法則に逆らわず、ゆったりと、力を抜いて曲線に動く、頭も体もやわらかく、立つ「こと」が基本です。腰を中心にして、力強く、真つ直ぐ気持ちよく立つ、手と足がバラバラでなくしっかりと繋がっている意識を体感出来れば、と講師は汗だくで、口と体を動かしたつもりです。皆さんの動作は当然ですが、固く、肩にも腕にも力が入り、力が見え、筋金入りの「力」が見えます。「すんと無駄な力も、筋金入りの力も、お互い笑いながら、手足よりも口が楽しく動いていました。それも効果の一つではなかつたかと思えます。楽しく汗を流してそれから会食。知識も技能も個性

### 「頭とからだを柔らかに」太極拳の話と実技

熊本支部長 河上 洋子 (専19家)

話と実技です。実は私が太極拳を始めたのは、定年後56歳から、今年で満23年になります。その経験から高齢者でも力の弱い女性でも無理なくやれる生涯スポーツで、皆さんにも健康生活を体験していただきたいと、発想は申し分ない計画でしたが、何分にも時間も場所も限られ、話も実技も全くと中途半端で残念で申しわけないことでした。しかし、「太極拳とは何か」の気分は味わっていただけましたでしょうか。丸い宇宙の陰陽の法則に逆らわず、ゆったりと、力を抜いて曲線に動く、頭も体もやわらかく、立つ「こと」が基本です。腰を中心にして、力強く、真つ直ぐ気持ちよく立つ、手と足がバラバラでなくしっかりと繋がっている意識を体感出来れば、と講師は汗だくで、口と体を動かしたつもりです。皆さんの動作は当然ですが、固く、肩にも腕にも力が入り、力が見え、筋金入りの「力」が見えます。「すんと無駄な力も、筋金入りの力も、お互い笑いながら、手足よりも口が楽しく動いていました。それも効果の一つではなかつたかと思えます。楽しく汗を流してそれから会食。知識も技能も個性



さて、毎回好評の卓話です。4月の役員会で種々検討されましたが、適任者を選ぶのが困難な支部長の私が引き受けてしまいました。時には気楽に、体を動かすこともいいか、「太極拳の

### クラス会だより 還暦同期会を山荘で!

中国 保子 (大11英)



がほとんどで「緑が多く静かだいい所ね」「大分に住んでいてつくしみ山荘が大分にあるとは知らなかった」という言葉も聞きました。涌蓋山に沈む大きな夕日が見え、夕食は一番遠い茨城県牛久市から来た壇遙子さんが指名を受け乾杯の音頭をとり始めました。おいしいダシ汁で煮た地鶏鍋を囲み和やかに楽しく進む中、自己紹介を兼ねた近況報告では社会で立派に活躍している方々ばかりでその事をも考えて下さつ

初めて北九州発で同窓生ツアーが行われそれに便乗して還暦同期会をしました。卒業後初めての同期会で、35年ぶりに会った友の「35年の空白もったいなかつたね」という言葉は嬉しかったです。お互いにいろいろな事を越えて自分の時間も取れる時に会ったから感じることの出来る思いでした。北九州から来るバスを待つ間に集合場所の福岡女子大の校内、学寮、梓寮への道を歩き、その変わり様に皆さん驚いていました。同期生は関東、関西、九州から14名。山荘に初めて来た人

ている同窓会会長や先輩のお話には感動しこのような方々を先輩にもちこうして同期出来る事を誇りに思いました。食後は湯が豊富な温泉に入りリラックス。新しくなった布団を一部屋に並べて寝たのは山荘のよい所で寝たのが倍増しおしゃべりもはずみました。平成8年(総会当番前年)から廻し始め5年かかって全員が近況を書いたくれたクラスノートは来られなかった人の事も知る事が出来て喜んでもらえました。翌朝は近所をのんびり散歩し、まだ咲いて

いた梅の花や山をバックに写真を撮ったり、露のとうを探したりしました。朝の澄んだ空気の中のグムと山々の姿も忘れられない風景です。山荘をあとにし長者原で昼食と自由時間。急ぐ人は福岡空港で降りました。発起人としてはクラス委員の岡和子さんと「お世話係の戸田裕子さんの計画について行くだけのこんな楽な同期会はないね。感謝!」と話しました。遠くから集まってくれた友人にも感謝し再会を誓い別れました。

### 学校法人 筑紫海学園 だより

## 同窓生の心が すてきな あずま屋となって



山荘設立25周年を祝って皆様がお寄せくださった浄財で、ガゼボと呼ばれるドイツオスモ社の木製あずま屋二基が、完成しました。3.6メートルの一基は食堂から見える庭に、おだやかな黄色の内径2.9メートルの一基は前庭の静かな木陰に、設置しました。

北欧の木材を使って作られた三層パネルを、正確に組み合わせて製品化されたものをドイツから輸入し、山荘で組み立てました。

オスモ社のガゼボは木製の柔らかさが好まれて、近年個人宅の庭や公園などに設置されていますが、工事を請け負った工務店はこの組み立ては初めてで、だいぶ苦労されたようです。

ガゼボの設置にあたっては、一級建築士の福田紀子氏(大17回)に全面的に関わっていただきました。完成してみると、数字より小さく感じたり、徹底した安全基準に則ったペンキ(オスモカラー)は発色が鮮やかでなかったりと、多少の齟齬はありましたが、つくしみ山荘の前庭に上質のよい雰囲気を与えることができましたと思います。

新しい布団とテレビ、そしてガゼボと、同窓生の皆様の温かいお心は、つくしみ山荘をしっかりと包んでいます。

山荘にまだ一度も行った

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円

幼児(3才以上) 3,000円

筑紫海会会員 5,800円

女子大学学生院生 4,000円

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円

幼児(3才以上) 3,000円

筑紫海会会員 5,800円

女子大学学生院生 4,000円

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円

幼児(3才以上) 3,000円

筑紫海会会員 5,800円

女子大学学生院生 4,000円

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円

幼児(3才以上) 3,000円

筑紫海会会員 5,800円

女子大学学生院生 4,000円

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円

幼児(3才以上) 3,000円

筑紫海会会員 5,800円

女子大学学生院生 4,000円

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円

幼児(3才以上) 3,000円

筑紫海会会員 5,800円

女子大学学生院生 4,000円

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円

幼児(3才以上) 3,000円

筑紫海会会員 5,800円

女子大学学生院生 4,000円

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円

幼児(3才以上) 3,000円

筑紫海会会員 5,800円

女子大学学生院生 4,000円

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円

幼児(3才以上) 3,000円

筑紫海会会員 5,800円

女子大学学生院生 4,000円

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円

幼児(3才以上) 3,000円

筑紫海会会員 5,800円

女子大学学生院生 4,000円

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円

幼児(3才以上) 3,000円

筑紫海会会員 5,800円

女子大学学生院生 4,000円

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円

幼児(3才以上) 3,000円

筑紫海会会員 5,800円

女子大学学生院生 4,000円

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円

幼児(3才以上) 3,000円

筑紫海会会員 5,800円

女子大学学生院生 4,000円

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円

幼児(3才以上) 3,000円

筑紫海会会員 5,800円

女子大学学生院生 4,000円

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円

幼児(3才以上) 3,000円

筑紫海会会員 5,800円

女子大学学生院生 4,000円

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円

幼児(3才以上) 3,000円

筑紫海会会員 5,800円

女子大学学生院生 4,000円

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円

幼児(3才以上) 3,000円

筑紫海会会員 5,800円

女子大学学生院生 4,000円

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円

幼児(3才以上) 3,000円

筑紫海会会員 5,800円

女子大学学生院生 4,000円

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円

幼児(3才以上) 3,000円

筑紫海会会員 5,800円

女子大学学生院生 4,000円

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円

幼児(3才以上) 3,000円

筑紫海会会員 5,800円

女子大学学生院生 4,000円

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円

幼児(3才以上) 3,000円

筑紫海会会員 5,800円

女子大学学生院生 4,000円

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円

幼児(3才以上) 3,000円

筑紫海会会員 5,800円

女子大学学生院生 4,000円

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円

幼児(3才以上) 3,000円

筑紫海会会員 5,800円

女子大学学生院生 4,000円

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円

幼児(3才以上) 3,000円

筑紫海会会員 5,800円

女子大学学生院生 4,000円

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円

幼児(3才以上) 3,000円

筑紫海会会員 5,800円

女子大学学生院生 4,000円

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円

幼児(3才以上) 3,000円

筑紫海会会員 5,800円

女子大学学生院生 4,000円

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円

幼児(3才以上) 3,000円

筑紫海会会員 5,800円

女子大学学生院生 4,000円

TEL. 0973-79-3408

FAX

ご予約は

料金(1泊2食・税別)

大人(中学生以上) 6,800円

大子供(小学生) 4,500円